

Yonago East Weekly



【多様性を活かしながら会員満足度と輝かしい未来の実現を目指す】

- 創立／1968年4月24日 ● 事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel(0859)32-5531
- 例会日／水曜日12:30～13:30 ● 例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel(0859)36-1111
- 会長／足立博俊 ● 幹事／中村 剛士 ● 会報／田中美希

【出席報告】会員数：109名

出席数：68名 欠席数 30名
出席免除会員11名：荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君
植田君 野津君 石井君 佐田山有史君
種田進君
出席率 70.87 %

【メーキャップ】

1/5 種田進君 (米子南RC)
1/8 会員4名 (米子中央RC)
1/9 会員11名 (第7回理事会)
1/14 会員8名 (インフォメーション)

スマイル 40,000 円 (733,000円)

【創立記念日祝】荒川雄司君 荒川圭三君 宮永君
野島君 牧田君 石井君 井上賢明君 田中裕一君
【本人誕生日祝】石井君 宮本守君 伊藤由子君
荒川圭三君 高塚君 野津君 松浦啓介君 船田君
前田君 古杉君
○1/24～25 高島屋5階にてパーリーゲイツ&マ
スターバニーの特別販売会がございます。ぜひお越し
くださいませ。井上玲子君

《幹事報告》

- ・新入会岡久治 (おかひさはる) 君
(2021.6.30退会し本日再入会)

- ・退会のお知らせ 12/31付け 井上雄介君 瀬戸雄一君
- ・1/28 10時ビジョン委員会、11時インフォメーション、例会後、クラブ協議会開催
- ・2/3 (火) 境港RCホストによる5RC合同例会18:00受付 18:30開会
- ・他クラブ例会変更等、入り口ボードにて掲示
- ・今月の休会 1/21



【会長挨拶：足立博俊会長】

2026年がスタートしました。年明け早々に地震があり、皆さんの地域の状況を案じつつのスタートとなりましたが、どんな試練も会員の皆さんと一緒に乗り切っていきたいと考えています。そうした中、嬉しいニュースとして、岡久治会員が4年ぶりにクラブへ戻ってこられました。ぜひ改めて、メンバーの仲間の一人として一緒に活動していければと思います。

さて、私の会長年度も半年が経過しました。「もう終わったようなものでしょう」と言われたりもしましたが、ホストファミリー等々の懸案もあり、やらなければならないこと、そして私自身がやりたいこともまだ多く残っています。微力ではありますが、クラブの発展のため、残り半年も全力で取り組んでいきたいと考えています。

1月は職業奉仕月間です。ロータリーにはその活動の指針となる、5つの奉仕部門があります。自分の言葉で言える方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕です。それぞれの内容を紹介いたします。まず、クラブ奉仕は会員同士の関係を育み、活力あるクラブづくりを行うこと、職業奉仕は倫理と公平をもって仕事に当たり、その知識や技能を社会のために役立てることです。社会奉仕は地域のよりよい社会づくりに貢献すること、国際奉仕は国際的な活動を通じた平和と相互理解の推進、青少年奉仕は青少年や若い世代の育成を支援することです。私たちの委員会組織もこの五大奉仕に取り組むように構成されています。概要をご理解して頂けたことと思います。

本日の会長挨拶は以上で終わります。ありがとうございました。

【乾杯挨拶：伊藤慎哉直前会長】



【ご入会】

岡 久治 会員
(おか ひさはる)



よく
お願いします

株式会社 H&O 代表取締役
2026.1.14 再入会



【本日のプログラム】

【「職業奉仕について」職業奉仕委員会 尾沢 三夫 会員】



RC（ロータリークラブ）の原点は職業奉仕にある。

120年前、社会が荒れ、職業倫理が失われつつあった時代に、きちんとした商売をし、正しい仕事を行おうという思いからロータリーは始まった。職業奉仕とは、寄付や社会奉仕、国際奉仕のことだけを指すのではない、まず自らの事業をきちんと経営し、会社として成り立ち、ロータリーの会費を無理なく払える会社であることだと、私は考えている。

会社の利益は、お客様が満足してくれた結果である。お客様に満足してもらえない仕事をしていては、会社は続かない。私は社員に何度も、「会社の利益はお客様の評価そのものだ」と伝えてきた。かつて、経営について、ロータリーの仲間から「手は離しても、目は離すな」という助言を受けたことがある。人に任せることは必要だが、経営者として商売から目を離してはいけないという意味であり、この言葉は今も心に残っている。

また「三倍の魔術」という教えがある。成功したいなら、人の三倍考え、三倍動き、三倍努力することだ。知っているだけでは意味がなく、実際にやるかどうかの違いになる。愚直にそれ続けている人間は、実際に結果を出している。会社経営は、倒産に向かって進むベルトコンベアの上に立っているようなもの。何もしなければ、ゴールは必ず近づく。経営とは、その終点から少しでも遠ざかるために、考え、変化を見極め、手を打ち続けることだ。

だからこそ、我々が日々、ちゃんとした仕事をし、お客さんに納得してもらえるものを提供しているのであれば、そのこと自体が、すでに職業奉仕を実践しているということだと思っている。規模の大小に関わらず、それぞれが自分の商売と経営に向き合うしっかりとした気持ちを持ち続けてほしい。

【「ロータリーの友」1月号 雑誌委員会 野島 剛リーダー】



P3 RI会長メッセージ 1月の職業奉仕月間について

P5 職業奉仕月間特集 日本が誇る工芸技術はいま
～輪島塗工芸師たちが切り開く新たな物語～

P18 福島ロータリークラブ ワークウェア例会で
仲間の仕事をもっと身近に

P67 寄り添いの経営 徳武産業(株)代表取締役会長 十河孝男